

# 長崎の林業

小曾根星堂書



島原半島高校生卒業記念植樹（南島原市）

4

## 目次

● 林政だより	令和5年度林政課・森林整備室の予算概要	2~3
● 特集記事	タカシマホールディングス株式会社 代表取締役社長 高島正太郎さん	4~5
● 林業普及だより	素材管理における検収方法の研修会（五島）	6
● 地方だより・島原	島原半島高校生卒業記念植樹	7
● 地方だより・県北	県央・県北地域 緑の少年団交流集会 活動報告	8
● 林業団体情報	長崎県緑化推進協会の取組状況	9
● センターだより	派手だけど気付かないタブノキの害虫「ホシベニカミキリ」	10
● お知らせコーナー	日吉の森 学生と協働の森づくり	11
● 長崎の山と森	金比羅山366.4m（長崎市）	12

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。



2023 No.811

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

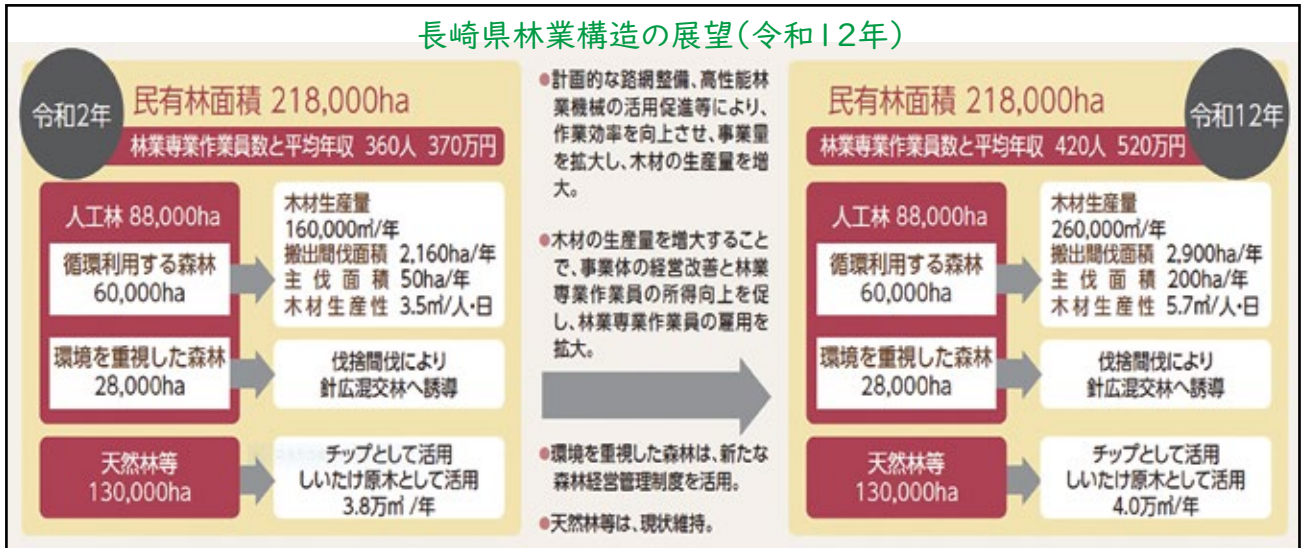
ご自由にお持ち下さい。  
「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→





林政だより

令和5年度林政課・森林整備室の予算概要



ながさき農林業・農山村活性化計画

令和5年度は、若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指すために策定された「第3期ながさき農林業・農山村活性化計画」実行の3年目です。

この計画では、令和12年の本県の林業の姿として、循環利用する森林を60,000ha確保し、計画的な路網整備、高性能林業機械の活用促進等により木材生産量の増大を図り、林業事業体の経営改善を進めることで、林業専業作業員数を420人まで増やし、平均年収520万円の確保を目指します。

また、近年多発する自然災害に対して、県民の安全・安心で快適な地域づくりを推進するため、治山事業を実施します。

用した木質化・木製品導入に対する支援、県産材を活用した木製品の開発等、森林の持つ公益的機能の維持発揮のため、「環境重視」と「県民参加」の視点に立った活動を支援します。



森林のめぐみ普及・啓発活動

◎当初予算の概要

令和5年度の林政課・森林整備室関係の一般会計当初予算は、97億8千万円です。

主な事業

1. ながさき森林環境保全事業

(予算額：196,558千円)

集落のにぎわいと憩いの場を提供するために、花木の植栽や遊歩道の開設など、より身近で親しみやすい里山林づくり、県産材を活



保育スペースに木製品の導入



## 2. 森林環境譲与税事業

(予算額：69,482千円)

10年後の将来像を描き、その実現に向けて実行する林業事業体の組織強化や林業専門作業員の技術向上に向け、体系化した研修カリキュラムを実施します。また、林業版産地計画の中間分析等を行い、更なるステップアップに向けた実行支援による、林業技術の向上と雇用主の経営改善を目指します。



チェーンソー技術の競技

## 3. 森林環境保全整備事業（造林公共）

(予算額：1,068,877千円)

本格的な利用期を迎えた森林資源を循環利用し、効率的な間伐等を進めるための森林施業の集約化、生産性を高めるための路網整備を実施します。



伐採後の再造林による資源循環

## 4. 森林環境保全整備事業（林道公共）

(予算額：70,500千円)

計画的に林道や林業専用道を整備し、効率的な木材搬出を行い、木材生産量のさらなる増大を進めます。



効率的な木材搬出のための林道整備

## 5. 治山事業

(予算額:3,835,965千円)

梅雨前線や台風による集中豪雨等を起因とした山地災害から県民の生命と生活を守るため、施設整備及び森林整備を実施します。



県民の生活を守る治山事業

## ◎主な2月補正予算の概要

### 1. 県民の森管理事業

(予算額：229,500千円)

子供連れが安心・安全に楽しんで過ごせる遊具などの施設を整備します。



遊具の整備

(林政課 計画調整班)



【特集記事】



タカシマホールディングス株式会社 代表取締役社長  
たかしま しょうたろう  
高島 正太郎さん

令和4年にタカシマホールディングス株式会社の代表取締役社長に就任された高島正太郎さん。趣味は釣りやキャンプ。森林環境教育の指導者「長崎県フォレストマスター」としても活動を行っています。

### オーストラリアから高島建設工業へ

高島さんは高校卒業後オーストラリアへ留学し、大学でビジネスマネジメントを専攻していました。その留学中に、高島建設工業の創業者であるお祖父さんが体調を崩されてしまい、「祖父が元気なうちに自分が働いている姿を見せたい」という思いで卒業と同時に日本に帰国、高島建設工業へ入社しました。当時の高島さんは箸より重い木材は持ったことがない状況でしたが、家の建材となる巨大な木材の配達を行う業務からそのキャリアがスタートしました。

### 端材への気づき

高島さんが入社した当時から会社の業務軸はプレカットで、高島さんも木材加工を手掛けているうちに、加工後にごみとして排出される端材に強く興味を惹かれまし

た。プレカット加工時に発生する木材の端材は月間約24㎡にもなり、基本的にはごみとして廃棄されていました。これは金額にすると約30万円以上の木材を廃棄していることとなります。この端材は住宅を作れる木材でできたものなので、ごみですが資源です。これをどうにかして世の中の人の役に立つものにできないかと思い、長い間試行錯誤してきました。近年はコロナ禍ということで、週末にDIYするのに端材はちょうどいいと考え、趣味であるキャンプの道具などを製作していたところ、周りから自分にも作ってほしいという声が上がってきました。ここで高島さんは端材を活用して世の中の人のためになる一つのプロジェクトを思いつきました。

### 森を創るプロジェクトの立ち上げ

それが森を創るプロジェクトです。このプロジェクトはタカシマホールディングスで発生する、廃棄予定の端材をインテリア家具やDIY商品に加工販売し、得た収益で植林や子どもへの木育活動や自然学習を行うというものです。プロジェクトとして



森を創るプロジェクト 販売商品一例

県内各地で自然・木育体験や植林イベントの開催や小学校の学外体験活動等も行っており、林野庁主催のJAPAN WOOD DESIGN AWARD 2021のソーシャルデザイン部門コミュニティ分野においてウッドデザイン賞を受賞しました。

このプロジェクトはタカシマホールディングス単独で行うものではなく、学生ボランティア団体や教育機関、地元企業、そして行政機関が相互に連携しながら「未来の長崎と、未来の子ども達へ今できることを」という思いの元、活動を行っています。特に、学生ボランティア団体については、高島さんが立ち上げからサポートしました。団体名は「eNの木」で、将来教育現場で活躍を目指す学生達を中心となり未来の長崎と子ども達の育成とサポートを目標にした団体です。立ち上げ当時は6,7名と小規模でしたが、今では40人規模に拡大し、次年度は大学内でサークルに昇格する予定で、活動がさらに活発になる見通しです。



諫早市での植林活動の様子

## 人の心に木を植える

高島さんは、自然教育活動を通して子ども達に小さな気づきを与えていきたいと考えています。これまでの体験活動の中では、ネイチャーゲームなど、五感で感じるような活動を取り入れたり、山が様々な自然の恵みに影響することを感じてもらえるように、地元食材を木の弁当箱に入れた「自然の恵み弁当」を特注し、参加者に振舞ったりしました。

そして気づきを得るうえで一番重要と考えるのが、活動のベースとなる場所です。

高島さんが理想とする自然体験現場は伐採直後の山林です。伐られた木がゴロゴロと横たわる現場を子ども達が目にした時、「自然破壊の後」と認識してショックを受ける人もいます。しかしその現場で少し目を凝らせば、木の苗が植えられていて、この小さな苗が50年かけて育っていくことを知らせます。伐採している木は老木で酸素の吸収も減るため、切ってあげないと限られた土地の中で新しい木を植えることができません。そしてその木を木材としてきちんと使ってあげないと、苗の購入や木を育てる管理ができないこと、伐った木の一部は土に還り、養分となって植林した苗木や様々な生き物の養分となって森が循環していくこと、そこに気づいてもらいたいと考えています。

「これらのプロジェクトは木材の利用が進まないといけないことです。我々の本業はプレカットなので木材の利用を促進していくことを一番のテーマとして、その中で木材を使った社会貢献を行っています。

植えた苗木が成長するまで、50年ほどかかると言われています。このプロジェクトに参加した子ども達が大人になり、その子ども達がまたこのプロジェクトを次世代につなげていく。そうすることで長崎の自然や環境が守られていく。このような循環のシステムを作っていきたいという想いで活動を継続していきたいです。」と今後の抱負を語られました。

(NPO法人地域循環研究所)



## 林業普及だより

## 素材管理における検収方法の研修会（五島）

五島森林組合上五島支所では、森林作業員16名が、搬出間伐・伐捨間伐等森林整備を進めています。

搬出間伐で生産した材は、港へ集積し船舶で全て島外へ出荷しています。出荷前は、港の土場においてA～Dのランク毎に径級・本数などの仕分けを行う素材管理が重要となり、より正確な原木の検収が必要です。

そこで、上五島支所での検収方法の聞き取りと、併せて、バーコードスキャナーを活用した原木検収の研修会を行いました。

## 【検収方法の聞き取り】

今回の研修会には、組合の森林作業員等6名が参加しました。まず、現在行っている検収方法を聞き取りました。

原木の検収は、現場にて造材し、仕分けされた材をフォワーダに積載する毎に、径を測り、材に印を付けて、スマートフォンアプリのログカウンターを活用して、径毎に本数を入力します。入力したデータはアプリからそのまま事務所へLINE等で送信し、事務所にて集計します。この方法は、小ロットで検収する場合に一人でも短時間で作業可能で精度も高いとのことでした。



写真1：スマートフォンアプリのログカウンター

## 【バーコードスキャナーを活用した検収の提案】

バーコードスキャナーは5～6千円と購入しやすく、cm単位でバーコード化された数値を読みとることで、数値がbluetoothで接続されたスマートフォンに記録される仕組みです。データはスマートフォンの表計算ソフトで集



写真2：バーコードスキャナーとコンベックスに貼りつけたバーコード

計され材積まで出力できます。

バーコードは、Web上で公開され、無償で利用できるバーコードラベル作成ソフトウェア“FenoLabel”を使って作成、検収に使いやすいようにコンベックスに貼り付けています。原木を計測する度にその径をスキャナーで読み込むことでスマートフォンに記録されるため、自分の頭で記憶したり、何かにメモしていく必要がありません。

実際に使ってみた作業員からは、普段のフォワーダ積載時の検収と比べると、かかる時間はあまり変わらないが、島外出荷時などに土場に大量に極積みされた原木を検収する時には有効ではないかとの意見や、さっそく試してみたいという感想が聞かれ、現場での活用による効率化が期待されます。



写真3：バーコードスキャナーによる検収

## 【最後に】

林業においてもDXによる作業の効率化が進んできています。今後も、新たな手法を積極的に情報収集し効率的に作業ができるよう普及活動に取り組んでいきます。

（五島振興局 林務課）

地方だより

## 島原半島高校生卒業記念植樹



植樹の様子

2月15日(水)に雲仙百年の森づくりの会と南島原市みんなの森守協議会の共同開催で、「島原半島高校生卒業記念植樹」が行われました。この記念植樹は雲仙百年の森づくりの会が主催し、雲仙・普賢岳災害で失われた緑を蘇らせるために行われています。昨年までは島原市千本木で活動を行っていましたが、今年は場所を「南島原イオンの里山」(南有馬町上原地区)に移して開催されました。

今回は、長崎県立島原翔南高等学校の3名が参加しました。ツバキとサクラの記念植樹を行いました。参加した高校生たちは、苗木を植えるための穴掘りなど、慣れない作業に苦戦しながらも楽しそうに作業をしていました。植樹後には、「卒業前に地元の木を植えることができ、いい記念になった。」といった声が聞かれました。



できあがった炊き込みご飯

植樹後には、昼食の炊き込みご飯づくりとシイタケの駒打ち体験を行いました。炊き込みご飯づくりは、竹製の飯ごうを使って行い、火おこしからスタートしました。ガスコンロとは違い、火力の調整が難しいのですが、上手に炊くことができていました。

最後はシイタケの駒打ち体験です。駒打ちとは、ドングリやシイなどの原木に穴をあけ、そこにシイタケの種菌を打ち込むことです。今回駒打ちしたシイタケが収穫できたら参加した高校生たちに送ってあげるそうです。

今年は1校と規模を縮小しての開催となりましたが、その分密度の濃い体験ができ、思い出に残る1日となりました。



シイタケの駒打ち体験

(島原振興局 林務課)



## 地方だより

## 県央・県北地域 緑の少年団交流集会 活動報告



活動発表大会の様子(左：波佐見町緑の少年団、右：佐世保市祇園緑の少年団)

## 緑の少年団 地域交流集会

緑を愛し、守り育てる活動を行っている県央・県北地区の緑の少年団において、緑の少年団間の相互研鑽と活動の活性化を目的として、日頃の活動状況の発表を行う地域交流集会を平成19年から実施しています。

近年はコロナ禍の影響により、交流会が実施されていませんでしたが、令和4年11月に前回の開催から3年ぶりとなる県央・県北地域 緑の少年団交流集会が佐世保市烏帽子町佐世保青少年の天地において2団が参加して開催されました。

## 活動発表

コロナ禍の影響を受け、多くの緑の少年団が日々の活動に多大な制限を受けている状況ではありましたが、“佐世保市祇園緑の少年団(県北)”“波佐見町緑の少年団(県央)”の2団によって、日々の活動として清掃活動や花苗作り・間伐体験・無人島探検などそれぞれの団にて特色がある活動発表が行われ、発表後には活発に意見交換が行われていました。

それぞれの少年団のよい所を自分たちの活動にも取り入れてもらい、今後の少年団活動が活性化することを期待いたします。

## 野外活動(フィールドワーク)

活動発表終了後には、野外活動として樹木医の先生と一緒に佐世保青少年の天地施設内の自然観察園やどングりの森にて、フィールドワークを行いました。

森の中で聞こえてくる音に耳を澄ませたり、先生が出したお題の植物と同じ植物を探してくるゲームや班に分かれての森のコレクションづくりを行うなど、野外活動を大いに楽しみました。



## おわりに

今回の地域交流集会は3年ぶりの開催であったことから、初めて地域交流集会に参加した子供達も多くいました。

交流集会は日頃の少年団活動の頑張りや外部に知ってもらう良い機会でもありますし、各少年団の活動を共有することで、改めて森林・緑の大切さを学ぶ機会になりますので、子供達の学びの機会が損なわれないよう今後も支援を行っていきます。

(県北振興局 林業課)



林業団体情報

## 長崎県緑化推進協会の取組状況



### 令和4年「緑の募金」実績

令和4年（R4. 1. 1～12. 31）の「緑の募金」実績は29,149,438円となりました。

ご協力ありがとうございました。

本年もご協力のほどお願いいたします。

### 令和4年度の活動状況

県民の皆様から頂いた「緑の募金」を活用して地域の植樹活動や緑化活動、また次代を担う子供達の緑化活動に助成を行っています。

その他にも（公社）国土緑化推進機構からの助成金である「緑と水の森林ファンド事業」や森とのふれあい基金の運用益を活用した「森とのふれあい事業」の実施、また、ローソン緑の募金による「学校環境緑化モデル事業」の募集・推薦を行っています。その事業の取組状況について紹介します。

#### ○緑と水の森林ファンド事業

令和4年11月3日に長崎県民の森において各団体と共催で「ふるさとの森フェスタ」を開催しました。



自然観察ウォーキング

#### ○森とのふれあい事業

長崎市八郎岳の登山道の案内板2基と山頂解説板を設置しました。



#### ○学校環境緑化モデル事業

小学校の敷地内の環境フィールドを整備する事業で平戸市田平南小学校の観察林の遊歩道整備が行われました。



集合写真

((公社)長崎県緑化推進協会)



## センターだより

## 派手だけど気付かないタブノキの害虫「ホシベニカミキリ」

## はじめに

タブノキは本県の山地には普通に見られる常緑樹です。庭木や公園街路樹にもよく見られます。長崎市の水辺の森公園にも約100本のタブノキがあり豊かな緑陰を形成しています。このタブの大敵はホシベニカミキリという体長2.5cmの真っ赤なカミキリムシです(写真1)。



写真1 ホシベニカミキリ成虫

このカミキリの幼虫は、タブノキの太い枝内で2～3年を過ごし、材内部の中心部から外側へ向かって食べ続けます。その結果、写真2のように枝の内部が空洞になり、枯損したり、折損しやすくなります。

大都会の街路樹であっても山中の自然木であっても関係なく被害を与えます。センターで調べたところ5月初旬から下旬まで新しく羽化し、約50日生存していました。

目立つ色の割には葉裏に隠れていて、人目に付くこともありません。



写真2 被害枝断面



写真3 孔の開いた葉



写真4 黒く垂れた葉

(長崎県農林技術開発センター)

## 防除するには

枝は太り続けますが、内部の食害も続くため空洞も大きくなります。また、同じ木を繰り返し加害する傾向にあり、センター内でも十年以上繁殖を観察している特定の木もありますので一度入るとやっかいな害虫です。

防除すべきかどうかの判断として、このカミキリの存在を知るポイントがあります。

5月初め頃、新しく展開した葉を見上げてみましょう。孔が開いた葉や、緑の枝軸に黒く垂れさがっている葉があれば確実にいます(写真3, 4)。これは羽化した成虫が葉を食べている痕跡です。

防除には、市販のカミキリムシに適用している登録農薬を使用し、枝葉に複数回散布します。6月を過ぎると太枝の上面に長さ8cm、巾3cmの小判型で表面をかみ砕いた産卵床を作り、約20個の卵を産みつけます。ふ化した若齢幼虫もしばらくそこに留まります。下からは見えませんが、産卵床があるところと意識して散布してください。次世代の幼虫駆除にもなります。

## 終わりに

カミキリの被害は落枝による事故の元になる可能性があるため、公園や道路管理者にとっては注意が必要です。幼虫の潜伏期間も2～3年と長いので防除は複数年繰り返す必要があります。安全管理の一助として活用いただければ幸いです。



お知らせコーナー

## 日吉の森 学生と協働の森づくり



ドローンで撮影した日吉自然の家の周辺

長崎市飯香浦町にある「日吉自然の家」は、自然環境の中で野外活動や自然体験を通じて、たくましく豊かな心を育てる社会教育施設です。

令和5年1月21日(土)、日吉自然の家主催のイベント、「日吉の森をきれいにしよう」が開催され、周辺の自治会や森林ボランティア団体、自然の家の利用者等合計118名が参加されました。クヌギ林の整備とオリエンテーリングコースのゴミ拾いの2つの内容で行われ、参加者の方は楽しみながら作業を行っていました。

また、同日に長崎大学ボランティアサークル「エコマジック」の学生と森林ボランティア団体が当地の森の整備を行いました。

エコマジックの皆さんは自らの要望で、昨年度9月に長崎県森林ボランティア支援センターが開催する技術研修会に参加し、初めて森林整備を経験しました。それをきっかけに地域の人に愛される森づくりを目指して、月1回の整備を同場所で継続することになりました。今回は手ノコやナタの他チェーンソーを使って雑草木の除間伐や集積を行いました。活動の甲斐あって林内は明るく、見通しが良くなり、成果が目に見えてわかるようになりました。そのことが、大学生のモチベーションに繋がっており、今後もより良い森づくりが期待されます。

(NPO法人地域循環研究所)



日吉の森の整備

## 伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和5年3月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/m <sup>3</sup> )	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～18	直	18,400	普通	普通	少ない
	16～18	小曲り	17,200	普通	普通	少ない
	20～22	直	18,400	普通	普通	少ない
	20～22	小曲り	18,000	普通	普通	少ない
	24～28	直・小曲り	20,000 ～18,000	少ない	普通	少ない

【スギ】

令和5年3月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/m <sup>3</sup> )	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18～22	直	16,000	少ない	普通	少ない
	16～22	小曲り	13,500	少ない	普通	少ない
	24～28	直	16,000	少ない	普通	少ない
	24～28	小曲り	13,500	少ない	普通	少ない

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

## 金比羅山 366.4m (長崎市)



頂上からの景色 (長崎港側)

長崎市にある<sup>こんびらさん むほんざん</sup>金比羅山は無凡山とも呼ばれるそうです。長崎市役所などがある市街地から歩いて1時間程度で登ることのできる、長崎市内の人たちには身近な山です。長崎市内にお住まいの方は、学生時代に遠足などで登山した経験がある方が多いのではないのでしょうか。

登山道は東西南北いろんな登山道がありますが、今回は勝山町から金比羅山に登り、高尾町に抜けるルートを選びました。長崎県歴史文化博物館を右手に見ながら立山公園を目指します、公園まではほぼ階段ですがその後は緩やかな小道となり、小道を抜けると金刀比羅神社へ到着します。その先を少し進むと金比羅公園と呼ばれる広場となります。

40年前小学校の遠足で登っていた頃、※ドク岩に乗って遊んだり、お弁当をよく食べていた当時と現在の光景に変わりはありませんでした。

広場から先は、広葉樹林の広がる山道へ繋がっていきます。道中はシイやカシ類など広葉樹林に包まれた薄明るい森林の山道を登っていき、階段の傾斜がきつくなり5分ほどすると頂上へ到着します。市民に愛される山であることから、ハイキング客ともよく出会い安心して登ることができました。

※ドクク…長崎弁でカエルのこと

頂上からの眺めは、北に大村湾、東に峰火山、西に稲佐山、南には八郎岳や女神大橋が見られ、長崎市内の名立たる山は多くこの場所から望むことができます。

その後、北へ進むと下りとなり、大きなヤマザクラやヒノキなどが見られます。春頃には桜の花が見られるかもしれません。麓近くまで下りてくると多くのクヌギ林が広がっていました。しいたけの原木などに使っていたのでしょうか。登って降りてくるまで、約2時間程度。長崎市で時間がある時は金比羅山の広葉樹の森へ出かけてみませんか。

(NPO法人地域循環研究所)



稲佐山から望む金比羅山 (左側)

長崎の林業 4月号 第811号  
編集・発行 長崎県林政課  
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号  
電話：095-895-2988  
ファクシミリ：095-895-2596  
メールアドレス：  
s07090@pref.nagasaki.lg.jp